

No	テスト種別	観点(大)	観点(小)	観点パターン	パターン・目的	テストフェーズ		テスト検証観点																																																						
						機能単体結合 ○:必須 △:可能な範囲	機能シナリオ	※○がついているものはエディタ対象																																																						
								画面 ・画面表示 ・画面遷移	DB ・DB更新仕様 ・トランザクション	ログ ・出力内容 ・出力形式	ファイル ・出力内容 ・出力形式																																																			
1	チェック観点	1-1. 入力チェック	共通	未入力 最小桁数未満 最大桁数オーバー 許容文字違反(半角英数字) 許容文字違反(半角数字) 許容文字違反(半角カナ) 許容文字違反(全角) 許容文字違反(全角カナ) 許容文字違反(JIS第1-2水準) 許容文字違反(1バイト) 許容文字違反(2バイト) 許容文字違反(アルファベットイーバンク) 許容文字違反(アルファベット(棄天)) 不正文字(禁則文字) 不正文字(13区) 不正文字(HTML特殊文字) 最小値未満 最大値オーバー 指定値以外	半角英大文字 「(スペース)」「(ハイフン)」「(ピリオド)」 半角英大文字	○		○		○																																																				
												日付	日付形式 過去日 日付大小	○		○																																														
												その他	メールアドレス形式 住所:都道府県なし 住所:連続スペース 暗証番号チェック 相関チェック	メールアドレス形式 住所:都道府県なし 住所:連続スペース 暗証番号チェック 相関チェック	○		○																																													
												1-2. 変換	共通	前後空白除去 JISマッピング変換 ハーフ変換 中点変換 全角カナ変換 全角変換(数字) 全角変換(記号) 全角変換(かな) 全角変換(英字) 半角変換(数字) 半角変換(英字) 許容13区 連続スペースまとめ	各機能で変換処理が実行されることを確認する。	○		○		○	○		○																																							
																								住所	都道府県あり 都道府県なし 都道府県後スペース	○		○		○																																
																								郵便番号	1~3文字 4~7文字	○		○		○																																
																								性別	マッピング	○		○		○																																
																								氏名(漢字・カナ)	セパレータ(空白)0つあり セパレータ(空白)1つあり セパレータ(空白)2つあり セパレータ(空白)連続あり	○		○		○																																
																								1-3. ファイル形式チェック	CSV	項目数不足 項目数オーバー 中身が空 レコード順番(ヘッダ、データ、トレーラ) データ件数	ファイル形式チェックデータ	○		○				○																												
																																				マルチフォーマット	レコード長未満 レコード長オーバー 中身が空 レコード順番(ヘッダ、データ、トレーラ) データ件数	○																								
																																														2-1. データ長	最小長 最大長	最小長・最大長データで各機能を実行し、DB登録・画面表示で正常に処理されることを確認する。	○		○	○		○								
																																																							2-2. 境界値	境界値-1 境界値 境界値+1	境界値データで各機能を実行し、境界値をまたがった処理が正常に行われることを確認する。	○		○		○
												2-4. その他	0埋め(文字列項目) null ※null許容項目	SQLのWhere句でシングルクォーテーションの囲み忘れがあると、0が削除されて登録されてしまうのを防ぐ。 NullPointerExceptionやバインドエラーが発生しないかを確認する。	○																																															
																				3	画面観点	3-1. 表示チェック	表示文言 表示形式 ソート順 約款 表示画像 入力エリアのサイズと位置 ページタイトル レイヤ		モック比較 特定文言 年月日、郵便番号、電話番号など 約款 ロゴ コピーライト ALT	禁止されている特定文言が使用されていないかチェックする。 表示される形式で使用どおりであることを確認する。 一覧などの項目についてはソート順が正しいことを確認する。	○																																			
												3-2. 画面制御	デフォルト表示 条件表示 リストボックス表示 画面制御(コントロール) 強調表示(赤文字など) エラーメッセージ表示	初期表示の確認 条件によって出る・でないの表示確認 リストボックスの中身の表示確認 HTMLコントロールの制御が行われているかを確認。 強調表示される箇所の表示確認 エラーが発生した場合の画面の表示位置、フォントの確認	○																																															
																																	3-3. 画面遷移	全画面遷移確認	画面のタブ順序が正しく設定されていること。 画面遷移図に記述されている全ての遷移を確認する。	○																										
																																									3-4. クロスブラウザ	推奨ブラウザ 非推奨ブラウザ	Internet Explorer 5.5, 6.0, 7.0 Safari 1.2, Safari 1.3, Safari 2.0 Firefox2.x, 3.x	各推奨ブラウザで表示が正しく行われることを確認する。	○																	
																								3-1. 表示チェック																										表示文言 表示形式 ソート順 約款 表示画像 入力エリアのサイズと位置 ページタイトル レイヤ	モック比較 特定文言 年月日、郵便番号、電話番号など 約款 ロゴ コピーライト ALT	禁止されている特定文言が使用されていないかチェックする。 表示される形式で使用どおりであることを確認する。 一覧などの項目についてはソート順が正しいことを確認する。	○									
																																																										3-2. 画面制御	デフォルト表示 条件表示 リストボックス表示 画面制御(コントロール) 強調表示(赤文字など) エラーメッセージ表示	初期表示の確認 条件によって出る・でないの表示確認 リストボックスの中身の表示確認 HTMLコントロールの制御が行われているかを確認。 強調表示される箇所の表示確認 エラーが発生した場合の画面の表示位置、フォントの確認	○	
		3-3. 画面遷移	全画面遷移確認	画面のタブ順序が正しく設定されていること。 画面遷移図に記述されている全ての遷移を確認する。	○																																																									
										3-4. クロスブラウザ	推奨ブラウザ 非推奨ブラウザ	Internet Explorer 5.5, 6.0, 7.0 Safari 1.2, Safari 1.3, Safari 2.0 Firefox2.x, 3.x	各推奨ブラウザで表示が正しく行われることを確認する。	○																																																

No	テスト種別	観点(大)	観点(小)	観点パターン	パターン・目的	テストフェーズ		テスト検証観点			
						機能単体結合 ○:必須 △:可能な範囲	機能シナリオ	※○がついているものはエビデンス対象			
						画面 ・画面表示 ・画面遷移	DB ・DB更新仕様 ・トランザクション	ログ ・出力内容 ・出力形式	ファイル ・出力内容 ・出力形式		
4	機能観点										
	4-1. データベース(検索・取得)	検索条件 件数指定 範囲指定			仕様書に記述された検索条件で対象データが取得できていることを確認する。 件数が指定されている場合、取得件数がその件数を越えないことを確認する。 ページングなど表示開始・終了の範囲が指定されている場合、正しい範囲で表示されることを確認する。	○					
	4-2. データベース(登録・更新・削除)	DB更新仕様 トリガ更新			DB更新仕様を満たしていることを確認する。 トリガによる更新が行われることを確認する。	○					
	4-3. エラー処理	データ不在 一意例外 SQL例外 登録・更新結果不正 ループ内例外			例外発生時に適切に処理されることを確認する。	○					
	4-4. メール送信	テンプレート イベント			テンプレートのテキスト内容が正しいことを確認する。 メールが送信されるときのイベントの内容が正しいことを確認する。	○					
	4-5. 排他制御	排他制御開始 排他制御継続 排他制御解除 排他制御終了			各処理で排他制御が仕様どおり動作することを確認する。	○					
	4-6. 業務固有				その他、業務に固有の観点が存在する場合は観点を追加する。	○					
5	バッチ機能観点										
	ファイル	入力	指定ファイルなし			○					
業務エラーデータあり											
処理対象0件									○		○
処理対象確認											
	出力	既存ファイルあり				○					
出力対象0件						○				○	
出力内容確認						○				○	
	DB	入力	処理対象確認			○				○	○
出力			DB登録確認				○				
トリガ			トリガによるDB登録確認				○				
	ログ	バッチ	開始・終了			○				○	
連続ログ出力(大量時)											
正常終了・異常終了											
業務固有											
	実行制御	結果コード(シェル)	正常・異常			○			○	○	
	トランザクション		コミット・ロールバック								
6	セキュリティ観点										
	6-1. ブラウザ操作	ブラウザバック マルチウィンドウ・マルチタブ	マルチウィンドウ(マルチタブ)で起動した後、セッション情報を書き換えて登録処理を行う。			○					
不正パラメータ			GETパラメータで不正な文字を送信しても適切に処理されることを確認する。								
二重送信											
ダイレクトリトバース											
	6-2. ダイレクトバス	サービス間またがりバス指定				○					
		実行処理バス指定									
7	競合										
	7-1. 同一機能同時更新				同一レコードを同一機能同士で更新して、影響が無いことを確認する。	○			○		
	7-2. 他機能同時更新	同一レコード更新			同一レコードを他機能同士で更新して、影響が無いことを確認する。						
		同一テーブル更新			レコード更新の条件指定があいまいなため、同一テーブルのほかのレコードに影響を及ぼさないかを確認する。						
	7-3. 同一セッション不正更新				同一セッションで操作したときに不正な更新が行われないことを確認する。	△					
8	性能観点										
	8-1. 大量データ性能					-		△			
	8-2. 高負荷										
9	シナリオ観点										
	9-1. 業務シナリオ			オンライン・バッチ結合 フロント・エンド結合		-		○			
10	運用観点										
	10-1. 移行またぎ									△	
	10-2. 障害シナリオ									△	
11	ノンデグ観点										
	11-1. ノンデグテスト									△	